



“^{ミカド}天皇”とその時代、そして文芸を考える! <part II>

～ 歴史と文化を知れば見えてくる“京都の魅力再発見”～

主催：京都商工会議所

人びとは、それぞれ生まれ落ちた時代の波に翻弄され、それでもなお生きていこうとします。喜びの数より悲しみの数が多く、楽よりは苦の方が勝っている人生に、それでも意味を見出して生きていこうとします。“ミカド”の歴史をたどる時、それぞれの時代の“ミカド”もまたそのように生きてきたように思います。祭祀者そして為政者、また文化の精華として、“ミカド”はそれぞれの時代で歓喜も苦悩も幸運も辛酸もすべてを一身に引き受ける宿命を負う存在でした。そこで後期も引き続き“ミカド”の治世を追い求めながら、日本という国にとって“ミカド”とは何かについてお話します。

回次	開催日	テーマ	講座のポイント
1	10月3日 (土)	醍醐天皇と『古今和歌集』 地獄に落ちたミカド、その真相とは？	善政だったとされる延喜・天曆の治。しかし地獄に落ちたとされる延喜の“ミカド”とは？菅原道真の左遷と恨死。『古今和歌集』の編纂。延喜の治の背景を探ります。
2	11月7日 (土)	後白河上皇と『梁塵秘抄』 “恋しとよ君恋しとよゆかしとよ 逢はばや見ばや見ばや見えばや、とその抒情	異端の帝王後白河。天衣無縫の一方で、おそろしいほどの権謀術数。そうした「治君の君」後白河の姿を、“ミカド”が編んだ『梁塵秘抄』の調べののってお話します。
3	12月5日 (土)	土御門天皇と“承久の乱” 敵父後鳥羽上皇への諫言と「ミカド」の責任	“主上御謀叛”である承久の変。そのなかで父後鳥羽への諫言をなし、乱後は自らの責任を問いつけて配流を願った土御門。土御門に去来した思いについてお話します。
4	平成28年 1月9日 (土)	後醍醐天皇と『神皇正統記』 帝王の自覚、関東調伏への執心	「帝王」の理想をひたすら追求めた後醍醐。呪法を駆使して関東調伏に執心し、無礼講で人心掌握を謀る。まさに“異形の王権”として屹立する後醍醐の姿をお話します。
5	平成28年 2月6日 (土)	後水尾天皇と“修学院離宮” “文芸と平安”～「ミカド」の“断念と有情”	寛永の文化。その煌びやかな光は京都から発せられたものでした。俵屋宗達、本阿弥光悦、尾形光琳と乾山、そして後水尾天皇。文化の精華として“ミカド”の姿を探ります。
6	平成28年 3月12日 (土)	明治天皇と“文明開化” “善きをとり悪しきを捨てて外つ国に 劣らぬ国となすよしもがな”の真情とは？	“御一新”から“文明”東漸の時代変動。そのなかで明治の“ミカド”は何を思っていたのでしょうか。日清・日露の両大戦とともに明治の“ミカド”の思いを探ります。

※内容は変更になる可能性があります。

【時間】 各回 15:30～17:30

【受講料】 各回 2,000円 (レジュメ含む)

※ 全6回一括お申込みに関し、**お一人9,600円** (2割引) の特別価格となります。

【定員】 各回 150名 (定員になり次第締め切ります)

【会場】 ①(第1-3回) TKP渋谷カンファレンスセンター

(東京都渋谷区渋谷2-17-3) JR山手線「渋谷」より徒歩3分、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線「渋谷」より徒歩2分、東急東横線・田園都市線「渋谷」より徒歩3分

③(第2・4・5・6回) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

(東京都新宿区市谷八幡町8) JR総武線「市ヶ谷」より徒歩3分、東京メトロ南北線・有楽町線「市ヶ谷」より徒歩5分、都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」より徒歩5分

【講師】 八柏 龍紀 (やがしわ・たつりの) 氏

秋田県生まれ。慶應義塾大学法学部・文学部卒。秋田県立高等学校教員を経て上京。その後、大手予備校日本史講師を務める一方で執筆活動を展開。2000年から東京大学駒場キャンパスで自主講座を開講。2010年は非常勤で自由ゼミを担当するなど講座・講演多数。著書には『セピアの時代』(大和書房)、『日本の歴史ニュースが面白いほどわかる本』(中経出版)、『「感動」禁止』(ベスト新書) などがある。



【お申込み方法】

- ①受講料を下記振込口座にお振込み下さい。(振込手数料はご負担下さい)
- ②「受講申込書」に必要事項をご記入の上、「受講申込書」と「振込金領収証のコピー」を一緒に、郵送もしくはFAXで下記申込先までお送り下さい。

受講料振込口座 京都銀行 本店営業部 普通預金 4085210「京都商工会議所」

【注意事項】

- (1) 受講申込書のご提出と受講料のお振込みをもってお申込み完了となります。
「受講証」は開講日1週間前を目処にお送り致します。
- (2) 既に納入いただきました受講料は、定員を超えてご参加いただけない場合や講演会中止のほかは、返金致しかねますので予めご了承ください。
- (3) 原則として本講演会のキャンセル・日程変更は受け付けておりません。
代理受講は可能です。ご欠席の場合は資料を後日送付致します。
- (4) 都合により、会場、日程、タイトルの変更がある場合がございます。

【お申込み・お問い合わせ先】 京都商工会議所 会員部 京都検定講習係

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル [地下鉄烏丸線「丸太町」6番出口スグ]

TEL 075-212-6416 FAX 075-222-2612 e-mail:school@kyo.or.jp

http://www.kyotokentei.ne.jp/

-----切-----り-----取-----り-----線-----

FAX : 075 - 222 - 2612

平成27年度 京都検定講演会[東京開催]

『天皇とその時代、そして文芸を考える！<partII>』 受講申込書 @2,000.-

[氏名]	ふりがな	[受講料振込] 銀行/信金 支店より (月 日 _____ 円 振込完了)
	漢 字	
[希望講座] ご希望コースの□欄にチェックし、合計金額をご記入ください		
<input type="checkbox"/> Hシリーズ1 (10/ 3) 醍醐天皇と『古今和歌集』 <input type="checkbox"/> Hシリーズ2 (11/ 7) 後白河上皇と『梁塵秘抄』 <input type="checkbox"/> Hシリーズ3 (12/ 5) 土御門天皇と“承久の乱” <input type="checkbox"/> Hシリーズ4 (1/ 9) 後醍醐天皇と『神皇正統記』 <input type="checkbox"/> Hシリーズ5 (2/ 6) 後水尾天皇と“修学院離宮” <input type="checkbox"/> Hシリーズ6 (3/12) 明治天皇と“文明開化”		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ◆1回毎のお申込み お一人様 2,000円 ◆全6回一括お申込み お一人様 9,600円(2割引) </div>		
<input type="checkbox"/> 2,000円×計_____回受講 合計金額_____円 <input type="checkbox"/> 全6回一括お申込み 合計金額_____円		
既納の受講料に関しては返金致しませんのでご了承ください。		
[現住所(お住まい)] 〒 _____		
TEL _____		FAX _____
[緊急連絡先] (臨時休講・会場変更など緊急の場合、昼間にご連絡致します)		
TEL _____		
※上記電話は、 <input type="checkbox"/> 自宅(携帯電話などを含む) / <input type="checkbox"/> 勤務先 です。		

※本申込書にご記入頂いた個人情報は京都商工会議所の検定、講座実施に必要な業務、各種情報提供の目的にのみ利用します。